

第5・6学年梅組 生活単元学習指導案

指導者 中 垣 里 美

単元 「お家の人によろこぶ カップケーキを作ろう」

本単元の考え方

○ 本学級の子供たちは、5年生2名、6年生1名で構成されている。子供たちは、給食のメニュー表を毎朝見たり、図書室で料理の本を読んだりするなど「食」への関心が高い。これまでの生活単元学習において、おにぎり、パフェ等、誰かのために「つくる」経験をしてきている。「つくる」経験の中で、量る、手順書を読む等、各教科等の学びを發揮しながらボウルや計量カップ等の調理器具の名前や使い方、工程に関わる言葉の意味が少しずつ分かるようになってきた。本単元の個々の実態は以下の通りである。

a児・c児 (G1)	b児・d児 (G2)
ひらがなや簡単なカタカナを読んだり書いたりする練習をしている。(国語) 100までの数字を読んだり、書いたりする練習をしている。(算数)	三語程度の文を読んで、内容を理解することができる。(国語) 計量カップやキッチンスケールで量る経験をしてきている。(算数)

- 本単元では、このような子供たちに、目的意識をもちながら自分達でくり返しお菓子作りを行っていく中で、調理の基礎的な技能を経験し、各教科での学びを生かしながら自分達でお菓子作りができたことへの満足感を味わうことをねらいとしている。本単元には3つの価値がある。①お家の人が好きカップケーキを作るという目的意識が明確であること、②各教科等で身に付けた力を生かしながら、お菓子作りに関する基礎的な技能を経験することができること、③作ったカップケーキを、実際に自分達で食べたり、お家の人に食べてもらったりして、満足感を味わうことができること等である。本単元は、子供の生活に身近で、興味関心のある「食」をテーマに、目的意識をもちながら各教科等の学びや生活経験を生かして課題解決していくことができる上で意義深い。
- 本単元の動機段階では、お家の人が好きカップケーキを作って渡すという目的をつかんだり、意欲を高めたりすることができるようにする。そのために、実際にカップケーキを買いに行き食べたり、誰に渡したいのかを話し合ったりする活動を行う。熱中段階では、自分達の力で、カップケーキを作る活動のくり返しを設定する。そのために、「自分」、「試作のための身近な教員」、「最終目的のお家の人」と、相手を変えて、作る活動を設定する。また、自分達の力で課題解決ができるように、個々の課題に応じた活動を意図的に設定し、くり返しの中で、少しずつ支援を減らしていく。最後に発展段階では、自分達でカップケーキを作り、それをお家の人に渡すことができたことへの満足感を味わうことができるようにする。

本単元の目標 (3資質・能力)

- お家の人が好きカップケーキを作って渡すという目的意識をもち、進んで活動に取り組むことができる。(自発性)
- カップケーキ作りを通して、お菓子作りに関する基礎的な技能を経験したり、各教科等の学びを發揮したりすることができる。(自己発揮性)
- お家の人が好きカップケーキを作って渡すことができたことへの満足感を味わうことができる。(成就性)

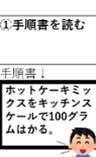
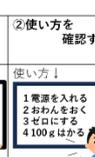
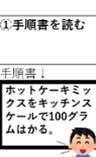
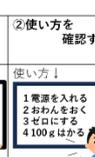
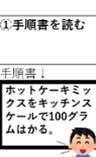
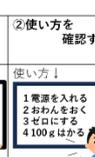
単元計画 (約10時間) + 課外

単元における活動・内容・手立て	
1	お家の人にお菓子を作って渡すことについて話し合い、お菓子作りの計画をたてる。 1
	○ お家の人が好きカップケーキを作って渡す活動への意欲をもつこと
	お家の人によろこぶ カップケーキをつくろう。
	※ カップケーキを作る意欲を高めるための、実際のお店にカップケーキを買いに行く活動と、誰に渡したいのかを話し合う活動の設定
2	友達と協力し、試作を重ねながらお家の人が好きカップケーキを作る。 8
	(1) レシピを調べ、手順書にまとめ、試作のカップケーキを作って食べたり、北校舎の先生に渡して感想をもらったりする。 ⑦ (本時6/7)
	(G1) 教師の支援をうけながら手順書のひらがなやカタカナを見て、必要な道具や材料を選ぶ方法を捉えること
	(G2) 教師の支援をうけながら必要な道具を正しく使い、手順書通りに作る方法を捉えること
	※ 各教科等で身に付けた力を生かして活動することができるようにするための、個に応じた教具の提示
	(2) 試作の感想を基にお家の人が好きカップケーキを作る。 ①
	(G1) 手順書のひらがなやカタカナを見て必要な道具や材料を選ぶ方法を捉えること
	(G2) 必要な道具を正しく使い、手順書通りに作る方法を捉えること
	※ 少しずつ日常に近づけていくための、手順書の中のイラストの視覚支援や、量り方等の支援の軽減
3	保護者に自分達で作ったカップケーキを渡す。 1
	○ カップケーキの感想や、単元の流れが分かる流れ図から、これまでの活動を振り返ることで満足感を味わうこと
	※ 満足感を味わうことができるようにするための、称賛の場と振り返りの活動の設定

本時の目標

- 「教師が喜ぶカップケーキを作る」という目的を意識し、自ら進んでカップケーキ作りの活動に取り組むことができる。 (自発性)
- 自分たちで作った手順書を読みながら、必要な道具や材料を用いてカップケーキを作ることができる。 (自己発揮性)
- (G①) お菓子作りを通して、手順書に書かれているひらがなやカタカナを正しく読み、正しい道具や材料を取ることができる。
- (G②) お菓子作りを通して、手順書に書かれている文の意味を理解したり、道具を使って正しく量ったりすることができる。
- 自分たちで作ったカップケーキを見たり食べたりして、カップケーキを作る活動の満足感を味わうことができる。 (成就性)

本時の学習過程 (7/10時)

学習活動と内容		手立て							
<p>1 単元の流れ図を見て、これまでの学習を振り返り、試作のカップケーキ作りをするという学習活動のめあてについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ お家の人が喜ぶカップケーキを渡すという単元の大きな目的を達成するために、北校舎の教師が喜ぶカップケーキを作るという本時の活動への意欲をもつこと <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">先生たちが よろこぶ カップケーキをつくろう。</div> <p>2 アンケートを見て、手順書を選び、手順書を見ながら道具や材料を使ってカップケーキを作り、作ったカップケーキを自分たちで食べる。</p> <p>(1) 手順書を見ながらカップケーキを作る。</p>		<p>1 本時の活動に見通しをもたせるための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 意欲や見通しをもたせるための、写真や動画で示されたデジタルの流れ図を使って単元の目的や流れを確認する活動の設定 <p>2 主体的に活動に取り組ませることができるようにするための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 活動の見通しをもたせるための、話を聞く場と活動をする場を区別した場の設定 ※ 一人一人の活動の手順を視覚的に示したためくり式の手順書の提示 ※ 正確に分量を量ることができたか確認するための、教師による確認の場の設定 ※ 個に応じた支援 							
G①(a児・c児)	G②(b児・d児)								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 手順書のひらがなやカタカナから、必要な道具や材料の名称や、簡単な作り方をつかむこと 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 手順書に書かれている文から、カップケーキの作り方や、正しい道具の使い方をつかむこと 							
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;"> <p>①手順書のひらがなやカタカナを読む 手順書！</p>  <p>ボウルをとってこよう。</p> </td> <td style="width: 33%;"> <p>②道具の置き場の中からボウルを探す 道具置き場</p>  <p>ボウルと書かれた文字カードや、イラストがなくても、ボウルがどれか分かるようになった。</p> </td> <td style="width: 33%;"> <p>③ボウルをもってこよう。</p>  <p>ボウルをとってこよう。次は何かな。</p> </td> </tr> </table>		<p>①手順書のひらがなやカタカナを読む 手順書！</p>  <p>ボウルをとってこよう。</p>	<p>②道具の置き場の中からボウルを探す 道具置き場</p>  <p>ボウルと書かれた文字カードや、イラストがなくても、ボウルがどれか分かるようになった。</p>	<p>③ボウルをもってこよう。</p>  <p>ボウルをとってこよう。次は何かな。</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;"> <p>①手順書を読む 手順書！</p>  <p>ホットケーキミックスをキッチンスケールで100グラムはかる。</p> </td> <td style="width: 25%;"> <p>②使い方を確認する 使い方！</p>  <p>1電源を入れる 2おわんをおく 3ゼロにする 4100gをはかる</p> </td> <td style="width: 25%;"> <p>③量る</p>  <p>「100」ぴったり入れることができましたよ！</p> </td> <td style="width: 25%;"> <p>④教師に確認する</p>  <p>正しく量ることができています。100g 盛りました。</p> </td> </tr> </table>	<p>①手順書を読む 手順書！</p>  <p>ホットケーキミックスをキッチンスケールで100グラムはかる。</p>	<p>②使い方を確認する 使い方！</p>  <p>1電源を入れる 2おわんをおく 3ゼロにする 4100gをはかる</p>	<p>③量る</p>  <p>「100」ぴったり入れることができましたよ！</p>	<p>④教師に確認する</p>  <p>正しく量ることができています。100g 盛りました。</p>
<p>①手順書のひらがなやカタカナを読む 手順書！</p>  <p>ボウルをとってこよう。</p>	<p>②道具の置き場の中からボウルを探す 道具置き場</p>  <p>ボウルと書かれた文字カードや、イラストがなくても、ボウルがどれか分かるようになった。</p>	<p>③ボウルをもってこよう。</p>  <p>ボウルをとってこよう。次は何かな。</p>							
<p>①手順書を読む 手順書！</p>  <p>ホットケーキミックスをキッチンスケールで100グラムはかる。</p>	<p>②使い方を確認する 使い方！</p>  <p>1電源を入れる 2おわんをおく 3ゼロにする 4100gをはかる</p>	<p>③量る</p>  <p>「100」ぴったり入れることができましたよ！</p>	<p>④教師に確認する</p>  <p>正しく量ることができています。100g 盛りました。</p>						
<p>(2) 自分たちで作ったカップケーキを食べる。</p>		<p>《グループ①》</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 道具の名前等、大事な言葉に必要なに応じて目印がついている手順書の提示 							
G①(a児・c児)	G②(b児・d児)								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 手順書のひらがなやカタカナから道具や材料を選んでカップケーキを作ることができたことへの満足感を味わい、教師に渡すことへの意欲をもつこと 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な道具を使って手順書に書かれている通りにカップケーキを作ることができたことへの満足感を味わい、教師に渡すことへの意欲をもつこと 							
<p>3 本時の学習を振り返り、がんばったことやできるようになったことを発表したり、次時の活動について話し合ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の流れ図から、カップケーキ作りができたことへの満足感を味わったり、次時の活動への見通しをもったりすること 		<p>3 本時の学習の満足感を味わわせるための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 満足感を味わわせるための単元の流れ図の提示 							

【本時求める子供の姿】

- (G1) 生活経験や学習経験で身に付けた力を基に、自らすすんで手順書にあるひらがなやカタカナを正しく読み、お菓子作りをしたりする姿
- (G2) 生活経験や学習経験で身に付けた力を基に、自らすすんで道具を正しく使って手順書通りに量を量ったり、手順書の文の通りにお菓子作りをしたりする姿